

## 令和5年第3回幸手市議会定例会 市政に対する一般質問通告書（通告順）

発言 順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	4	芦 葉 弘 志	1 子育て支援に関わる、幸手市の施策について	<p>令和5年6月13日閣議決定され、内閣官房こども未来戦略会議HP掲載のこども未来戦略方針には、「総合的な制度体系を構築する際に重要なことは、伴走型支援・プッシュ型支援への移行である。従来、当事者からの申請に基づいて提供されてきた様々な支援メニューについて、行政が切れ目なく伴走する、あるいは支援を要する方々に行政からアプローチする形に、可能な限り転換していくことが求められる。」となっている。</p> <p>(1) 体重が1500g以下のお子さんを対象とした、埼玉県が取り組んでいるリトルベビーハンドブックについて、幸手市の取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 出生届のタイミングや、助産師の家庭訪問等で、出産時の体重を把握して、1500g以下だった場合はリトルベビーハンドブックの紹介をしているのかを伺う。</p> <p>(3) 三郷市や羽生市などでは、初回妊娠しているかどうかを確認する場合、国の補助金を使い、「低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業」を上限1万円としておこなっているが、市としての取り組みとこれに対する考えを伺う。</p> <p>(4) 三郷市や越谷市などでは、国の補助金を使い、「多胎妊娠の妊婦健康診査支援事業」を1回上限5千円（5回まで）としておこなっているが、市としての取り組みとこれに対する考えを伺う。</p>

			<p>2 不登校対策および学びの保障について</p>	<p>(5) 伴走型子育ての取り組みとして、今年度から取り組んでいるパーソナル知育絵本の配布を通じた、「2歳児ハッピー子育て教室」についての内容、参加人数、参加者の反応について伺う。</p> <p>(6) 子育て支援に関わる子ども医療費の無償化ですが、「3月議会では18歳まで無償化をできるだけ早期に実現したい」とあったが、今後の計画について市としての考えを伺う。</p> <p>令和5年3月31日文部科学省から発信のあった、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について」には、「近年、不登校児童生徒数が増加し続け、令和3年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」では、小学校及び中学校で約24.5万人、高等学校を合わせると約30万人に上り過去最高となるなど、生徒指導上の喫緊の課題となっております。また、同調査からは、90日以上の不登校であるにもかかわらず、学校内外の専門機関等で相談・指導等を受けていない小・中学生が約4.6万人に上ることも明らかとなっております。こうした状況を受けて、文部科学省では、このたび「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」(COCOLOプラン)を取りまとめました。」となっております。</p> <p>(1) 市内の不登校児の把握している人数を学校学年別に伺う。</p> <p>(2) 不登校児の受け皿として、市として現在の取り組みを伺う。</p> <p>(3) COCOLOプラン1. 不登校児童生徒が学びたいと思った時に学べる環境の整備について、市としての新たな対策について伺う。</p>
--	--	--	----------------------------	--

			<p>3 熱中症対策について</p>	<p>(4) COCOLOプランでは、「自宅等において ICT 等を活用した学習活動については、可能な限り、指導要録上出席扱いとするとともに、本人の進学等の意向等を考慮し、学習評価を行い、その結果を評定などの成績評価に反映することが望ましい」となっております。いままでは学校に登校しなければ、出席にならなかったですが、リモートでも出席になるのか、または今後出席にする方策があるか伺う。</p> <p>(5) COCOLOプランでは、1人1台端末を活用し、心や体調の変化の早期発見を推進（健康観察にICT活用）とあるが、市としての取り組みを伺う。</p> <p>(6) COCOLOプランでは、メタバースの活用について書かれており、宇都宮市では、メタバースを開設して、個人のアバターを作成して、居場所の提供をおこなっていますが、不登校児を減らしていく、または無くしていくために市としての取り組みを伺う。</p> <p>(7) COCOLOプラン2. 不登校児童生徒の保護者への支援について、不登校児を抱えている、ご家庭に対しての市としての取り組みについて伺う。</p> <p>環境省発表の本年7月9日から8月8日までの1か月間の熱中症警戒アラートは埼玉県では17回発令されており、体力をうばわれる災害級の暑さになっている。屋外では38度、屋内の場所によっては40度を越えている。</p> <p>(1) 令和4年、令和5年の市内の熱中症の救急搬送者の状況について伺う。</p>
--	--	--	--------------------	--

				<p>(2) 熱中症対策について、市として対策について伺う。</p> <p>(3) 高齢者世帯等のエアコン整備や点検を促す取り組みを伺う。</p> <p>(4) 高齢者や一人暮らしが多い市営団地における熱中症対策について伺う。</p> <p>(5) 小中学校の体育館の熱中症対策として、エアコン設置についての市としての考えを伺う。</p> <p>(6) 小中学校の体育館にエアコン設置をした場合の予算額について伺う。</p> <p>(7) 小中学校の体育館は、災害時の防災拠点となると思うが、8月のような外気温が38度の場合エアコン設置が必須だと考えるが、市としての考えを伺う。</p>
2	6	坂本達夫	<p>1 幸手駅に設置した駅ピアノについて</p> <p>2 幸手市の温室効果ガス削減対策について</p>	<p>(1) 駅ピアノの評価を市長に伺う。</p> <p>(2) 今年の4月下旬、関西地方の自治体でストリートピアノ運用中止とした内容を伺う。</p> <p>(3) 駅ピアノの設置目的を市長に伺う。</p> <p>(4) 駅ピアノ常設に向けた市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 温室効果ガス削減対策について、幸手市の評価を市長、教育長に伺う。</p>

			<p>3 令和4年度 幸手市のふるさと納税について</p> <p>4 中5丁目小公園付近の浸水対策について</p>	<p>(1) ふるさと納税の概要(納税金額、県内の順位、事業費等)を伺う。</p> <p>(2) 人気返礼品の変化と幸手市の対応を伺う。</p> <p>(3) 新たな展開、店舗型の導入と返礼品に野菜の導入を伺う。</p> <p>(1) 水路の付け替えを市長に伺う。</p>
3	3	宮澤大地	1 幸手市在住の若者夫婦世帯に対する住宅取得補助金について	<p>本年度より、幸手市へ転入する40歳未満の若者夫婦世帯に住宅取得費用を補助する「幸手市しあわせ家族ウェルカム補助金」をスタートさせました。本事業目的には『活気のある街をつくるためには、将来ある若い方々のお力が欠かせません。「幸手市しあわせ家族ウェルカム補助金交付事業」は、活力にあふれる若年層のみなさまが、これからの生活の舞台に幸手市を選んでくださることを目的としております』と書かれています。その事業目的には賛同いたします。しかし「生活の舞台に幸手市を選んでくれた」若い夫婦世帯は、他市町村から幸手市に転入してきた方だけではないと考えています。そこで幸手市の今後の取り組みについて質問をいたします。</p> <p>(1) 幸手市内に住んでいる若者夫婦世帯数を伺います。</p> <p>(2) 幸手市から幸手市へ転居している若者夫婦世帯数を伺います。</p> <p>(3) 幸手市から市外に転出している若者夫婦世帯数を伺います。</p> <p>(4) 他市町村にて実施している若者夫婦世帯の住宅取得補助金制度はどのようなものか伺います。</p>

			<p>2 「空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律」について</p>	<p>(5) 「幸手市しあわせ家族ウェルカム補助金」の前期申し込み状況を伺います。</p> <p>(6) 幸手市から幸手市へ転居する若者夫婦世帯への住宅取得補助金制度をつくるかを伺います。</p> <p>近年、増え続ける空家。「所有者の責務強化」「空家等の活用拡大」「空家等の管理の確保」「特定空家等の除却等」に取り組むための「空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律」が令和5年6月7日に成立し、6月14日に公布されました。居住目的のない空家（特定空家等）に対する市町村の権限が一步拡大されることとなる改正法に対し、幸手市の取り組みについて質問いたします。</p> <p>(1) 空家件数の実態調査を実施する予定はあるのか伺います。</p> <p>(2) 所有者の責務強化や空家の管理確保の対応について幸手市の計画はあるか伺います。</p> <p>(3) 特定空家等の除却について、権限が強化されるがその費用負担について伺います。</p> <p>(4) 特定空家の除却促進に向けて、補助金等は考えているか伺います。</p>
4	1	高野優一	1 企業誘致について	<p>(1) 企業誘致のこれまでの取り組みについて市長に伺う。</p> <p>(2) 幸手中央地区産業団地誘致後の効果・課題について伺う。</p> <p>(3) 幸手中央地区産業団地の拡大の取り組みについて伺う。</p>

			2 幸手市ハッピー・スマイル(米)推進事業について	<p>(4) 戸島地区における新たな産業系の土地利用の進捗状況について伺う。</p> <p>(5) この事業(4)に対する市の今後の取り組みについて市長に伺う。</p> <p>(1) ハッピースマイル事業の予算について伺う。</p> <p>(2) 令和4年7月1日から施行し約1年経過したがどの様に推移しているのか伺う。</p> <p>(3) 幸手産米受給拒否の現状について伺う。</p>
5	15	大平泰二	<p>1 市内循環バスについて</p> <p>2 安心安全な水道水について</p>	<p>以下の事について市長に伺う。</p> <p>(1) 6月議会以降、市民から指摘されたバス停新設・移動問題について解決・改善された事項について</p> <p>(2) 東武鉄道株式会社との話し合いの結果について</p> <p>(3) 循環バス以外の市民の「足」確保について 市役所所有の公用車は利用出来ないか</p> <p>(1) 県水の「値上げ」が検討されているが市はどのように把握されているか</p> <p>(2) 県水と地下水の1m<sup>3</sup>単価の推移について(資料提出)</p>

			<p>3 市内公共施設の老朽化対策</p> <p>4 治水対策</p>	<p>(3) 県水値上げの場合、県水・地下水の比率変更で現在の給水単価は維持できるか</p> <p>(4) 地下水くみ上げと、県水使用量の比率の推移について（資料提出）</p> <p>(5) 市内地下水ポンプ井戸の本数とメンテナンス及び電源確保について</p> <p>(6) 県水がダウンした場合、市民の飲料水確保は可能か</p> <p>(7) 浄水場の非常電源確保と訓練について</p> <p>(1) 問題発生状況と応急処置を含む改修状況について（資料提出）</p> <p>(2) 各施設の雨漏り状況とエアコン稼働状況について</p> <p>(3) 天神の湯含む今年度改修予算の確保について</p> <p>(1) 第一ポンプ場の設計調査結果について</p> <p>(2) 東2丁目～5丁目間の排水路整備と極楽湯付近のポンプ場整備について</p> <p>(3) 天神橋付近の排水設備の設置整備について</p> <p>(4) 流下能力を高める対策として牛村病院付近の大中落水路底面を開削し排水管を埋め、流下能力を高めることについて</p>
--	--	--	-------------------------------------	--

			5 ゴミ処理施設と最終処分場  6 神扇地区環境問題	(1) 櫻泉園焼却施設解体計画の具体化について  (2) 焼却灰最終処分場延命対策と焼却灰処分対策の経費について  (1) 神扇地区のゴミ屋敷問題で今年度新たに搬出されたゴミの量、及び防虫対策について  (2) 古材の山を撤去する対策について
6	7	小林 英雄	1 交通安全対策について        2 区長の選挙活動について	(1) 信号機のない横断歩道において歩行者横断が優先であるが、現状これを守らないドライバーが多くみられる。市はこの現状をどう考えているか伺う。  (2) 信号機のない横断歩道の歩行者の安全対策についての考えを伺う。  (3) 自転車乗車時のヘルメット着用についての考えを伺う。  (1) 区長は地域住民に対して、公正公平に職務を行うことになっており、選挙活動には関わるべきではないと考えるが、市の考えを伺う。
7	12	本田 謡子	1 幸手の小中学校について	(1) 幸手の小中学校のあり方について、教育審議会の答申の概要を伺う。  (2) 答申をうけ、教育委員会の協議についての概要を伺う。  (3) 教育委員会より報告を受けた市長の考えや今後の施策等を伺う。

			<p>2 今後の公共施設について</p> <p>3 防災について</p>	<p>(1) 統廃合などにより廃校になる小学校の施設などについて、市の考えを伺う。</p> <p>(2) 老朽化の公共施設について、今後の幸手市としての整備計画等を伺う。</p> <p>(1) 自主防災組織のある地域と自主防災組織のない地域の違いについて伺う。</p> <p>(2) その「差」について、市としてのサポートはあるのか伺う。</p> <p>(3) 市として今後の取り組みを伺う。</p>
8	2	小 泉 圭 司	1 幸手市の公共交通の確保について	<p>(1) 朝日バスの幸手駅－杉戸高野台駅線の廃線が今年いっぱい迫る中、前回答弁されていた公共交通計画はいつまでに策定するのか。また、無くなってしまった東鷲宮－香日向間、幸手駅－杉戸高野台駅間の終了後の代替手段に対する市長としての考えを伺う。</p> <p>(2) 公共交通の維持に対する国からの補助金の活用について伺う。          ①東鷲宮駅－コミュニティセンター間のバスに対して地域間幹線系統補助を活用していたのか。          ②幸手駅－五霞町役場のバスが仮に無くなってしまった時、幸手市の循環バスへの補助金はどうなるのか。</p> <p>(3) 幸手市では公共交通計画の策定について市民の意見をアンケートで行うと伺いました。五霞町では住民参加の地域公共交通会議が開かれ、7月には新しいメンバーも公募されています。現在幸手市で</p>



			<p>4 地域の居場所づくりについて</p> <p>5 マイナンバーカードの取り扱いについて</p> <p>6 市民協働について</p>	<p>今や国でも孤独・孤立対策室が出来るほど、地域とのつながりを作る場所や機会は重要であると考えられます。様々な世代の人が地域とつながる居場所に対する施策について伺う。</p> <p>(1) 幸手市のサロン活動に対する支援の現状について伺う。</p> <p>(2) 周辺地域のサロン活動に対する支援内容、及び総合支援事業への取り組みの幸手市との違いを伺う。</p> <p>(3) 子ども食堂に対する幸手市としての考えを伺う。</p> <p>(4) 子ども食堂に対する冷凍食品などの受入、保管場所を提供する事は出来ないか伺う</p> <p>(1) 現在、様々なトラブルが相次いでいるマイナンバーカードに対して市の対応はどのように考えているか伺う。</p> <p>(1) 幸手市のまちづくりの基本理念の一つに“市民と行政がともにまちをつくる”とありますが一部の方だけに偏って委員会や会議に参加をしていないか。一般市民が公募などによって参加しているもの、代表区長が要請されて参加しているもの、それぞれ何種類あるのか伺う。(資料の提出をお願いします)</p>
9	5	四本奈緒美	1 学校図書館の充実と子どもの読書活動の推進について	<p>文部科学省は、令和4年度から8年度まで第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」、本年令和5年度から9年度まで第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の2つの計画を決定し、学校図書館の整備・充実と子ども達が主体的に読書活動を取り組めるよう計画を進めることとなった。(学校別資料提出をお願いします)</p>

				<p>(1) 本市における学校図書館の役割と学校図書館がその役割を果たすことによって期待されることを伺う。</p> <p>(2) 各小中学校の蔵書数と学校図書館図書標準の達成率を伺う。</p> <p>(3) 古い蔵書の廃棄と更新の状況を伺う。</p> <p>(4) 各小中学校の新聞の配備状況を伺う。</p> <p>(5) 学校司書の配置の状況を伺う。</p> <p>(6) 各小中学校の児童生徒の1人あたりの図書購入額を伺う。</p> <p>(7) 学校図書費予算は、どのように決められているのかを伺う。</p> <p>(8) 第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」が昨年からスタートしている。5年間で学校図書館図書標準の100%達成と、計画的な図書の更新、新聞配備、学校司書の配置のための地方財政措置がされている。本市においてはどのように予算化が図られているのかを伺う。</p> <p>(9) 教育委員会と学校は、学校図書館の計画的整備をどのように協議・調整されているのかを伺う。</p> <p>(10) 総合教育会議において市長と教育委員会は、学校図書館整備計画についてどのように協議・調整されているのかを伺う。</p>
--	--	--	--	--

			<p>2 離婚後の子どもの支援について</p>	<p>(1 1) 教育大綱に学校図書館整備計画を位置付けることが必要と考えるがいかがかを伺う。</p> <p>(1 2) 街には書店が減り、デジタル化が急速に進み、子ども達が本に出会い、本の楽しさ、便利さを知り、主体的に本と触れ合う場が学校図書館と考える。本市は、ブックスタート、パーソナル知育絵本、セカンドブックスタートと、他自治体に先駆けた本を使つての切れ目の無い子育て支援事業を行っている。更に小中学校の学校図書館をより充実させる事によって、中学校卒業まで切れ目の無い本を使った幸手市独自の子育て支援・教育事業としていける可能性があると考え。第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を踏まえ、今後の本市の学校図書館の充実にどのように取り組んでいくかを伺う。</p> <p>厚生労働省が発表した令和2年の子どもを持つ親が離婚をする離婚件数は、11万1,335件で、離婚総数に対する割合は57.6%。親の離婚により経済的に厳しい状況になり、満足な教育環境を整えてあげられなかったり、精神的に不安定になり、その後の子どもの人生を大きく左右させてしまう懸念もある。こうした貧困の格差、連鎖を生じさせないために行政としてしっかりと支えていく必要があると考える。</p> <p>(1) 本市の子育て家庭の世帯数、うちひとり親家庭の世帯数と割合を伺う。</p> <p>(2) ひとり親家庭の養育費の受け取り状況について伺う。</p>
--	--	--	-------------------------	--

			<p>3 ドライブレコーダーを活用したまちの見守り活動について</p>	<p>(3) ひとり親家庭の経済状況について、本市はどのように捉えているのか、要因分析も含めて伺う。</p> <p>(4) 春日部市では本年4月より親の離婚に際し、養育費の取り決めに関わる補助制度が開始された。視察に伺い直接取り組みを伺ったが、このような取り組みは子どもの安定した生活を確保するために必要な施策で、本市においても取り組むべきと考える。子を持つ離婚をされた方を含めて、ひとり親家庭の経済的な安定を支えていくため、本市は今後どのようにしていく考えかを伺う。</p> <p>(5) 離婚や離婚後の養育費、面会交流等について無料で弁護士に相談できる法律相談の支援が必要と考えるが今後の市の取り組みを伺う。</p> <p>事故や犯罪はいつどこで起こるかわからない。児童生徒や自分や家族が巻き込まれるかもわからない。市民の安心安全な生活を守るための防犯対策は喫緊に取り組む課題である。</p> <p>(1) 本市では公用車にドライブレコーダーを搭載している。搭載の目的と効果を伺う。</p> <p>(2) 本市の公用車へのドライブレコーダー搭載の台数と割合を伺う。</p> <p>(3) 本年5月、久喜市においては、久喜警察署、幸手警察署の3者で「ドライブレコーダーを活用したまちの見守り活動に関する協定」を締結し、市の公用車や市が協力を依頼する事業者の保有する車輌に搭載されたドライブレコーダーを「動く防犯カメラ」として、児童生徒の見守りや警察の捜査に活用することで、まちの見守り体制</p>
--	--	--	-------------------------------------	---

				<p>を充実し、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいる。本市においても幸手警察署と協定を締結し、ドライブレコーダーを活用し地域全体で犯罪抑止力を強化したまちの見守り活動を推進するべきと考えるが、本市の見解を伺う。</p>
--	--	--	--	--